



2026年度（2027年3月期） 第2四半期決算補足資料

2026年10月29日
北海道ガス株式会社

1. 2026年度 第2四半期決算実績

2026年度第2四半期 連結決算 | 売上高・利益

✓ 2期連続の増収・2期ぶりの減益

売上高	716.9億円	ガス・電力では、原料費(燃料費)調整制度による販売単価の低下や、販売量が減少したものの、リプレイス分野の器具販売の拡大等により、ほぼ前年並み
経常利益	36.1億円	ガス・電力の減収影響に加え、スマートメーターの本格導入やデジタル基盤の強化による戦略的経費の増加等により減益

	2026年度 中間実績	2025年度 中間実績	対前年 増減額	対前年 増減率	備考
売上高	716.9億円	713.6億円	+3.2億円	+0.5%	2期連続の増収
営業利益	34.5億円	66.7億円	▲32.2億円	▲48.3%	2期ぶりの減益
経常利益	36.1億円	68.6億円	▲32.4億円	▲47.3%	2期ぶりの減益
特別利益	1.2億円	4.7億円	▲3.4億円	▲72.9%	事故関連費用の戻入
特別損失	—	4.9億円	▲4.9億円	▲100.0%	—
親会社株主に 帰属する中間純利益	25.9億円	48.9億円	▲23.0億円	▲47.0%	2期ぶりの減益

※前年度の特別利益は、室蘭ガスの連結子会社化に伴う室蘭ガスの純資産（時価ベース）の組み込み分。特別損失は室蘭ガス株式（当社保有分）の評価替え分。

2026年度第2四半期 連結決算 | セグメント別内訳

☑ ガスと電力は減収減益、エネルギー関連は増収増益

単位：百万円

	売上高				利益			
	当期	前年同期	増減額	増減率	当期	前年同期	増減額	増減率
ガス 都市ガス、LNG販売	40,107	41,369	▲1,262	▲3.1%	3,048	5,553	▲2,505	▲45.1%
電力	13,057	13,072	▲14	▲0.1%	911	1,670	▲759	▲45.4%
エネルギー関連 工事・器具、LPG他	17,865	16,173	+1,691	+13.6%	701	698	+2	+0.3%
その他	660	751	▲91	▲12.2%	212	119	+93	+77.9%
調整額	—	—	—	—	▲1,421	▲1,369	▲51	—
合計	71,690	71,367	+322	+0.5%	3,452	6,673	▲3,220	▲48.3%

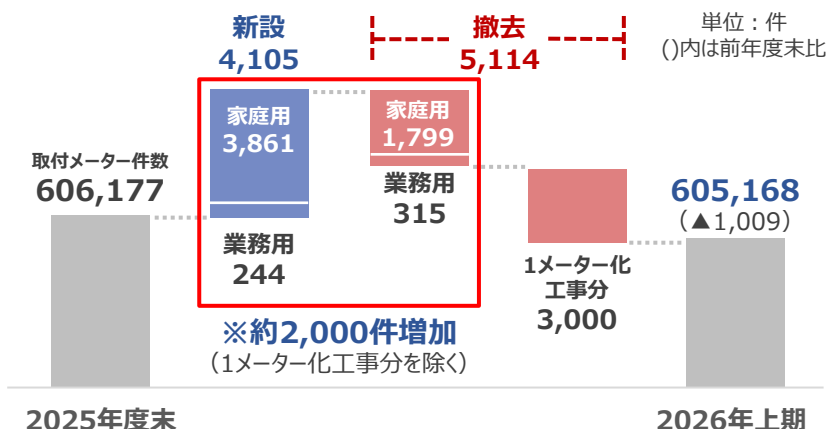
売上高構成比



セグメント別の概況 | ガス

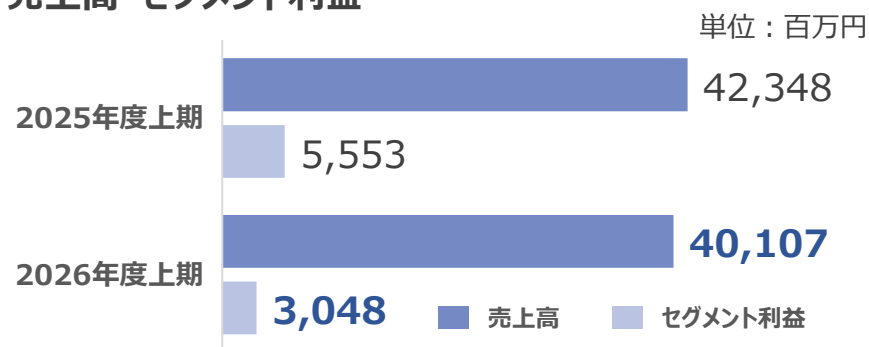
お客さま件数（取付メーター件数）

605,168件（前年度末比 ▲1,009件）※



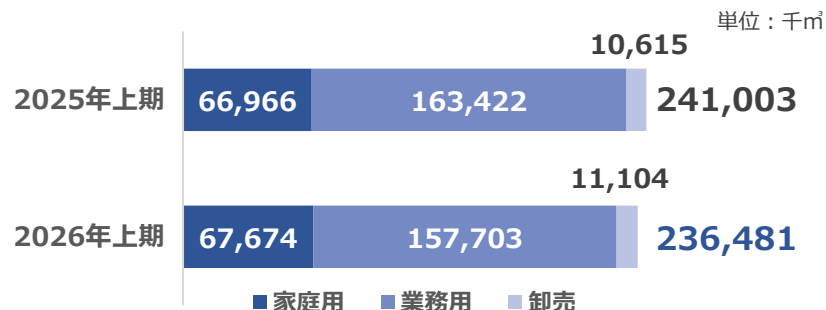
- ☑ 賃貸物件を中心に、新築家庭用のお客さまを順調に獲得
 - ☑ ガスメーター2個(厨房用・暖房用)を1個に統合する工事を推進し、対前年約1.4倍となる3,000個のメーターを撤去
- 1メーター化工事を除いたお客さま件数は、約2,000件増加

売上高・セグメント利益



ガス販売量

2億3千6百万^m（前年同期比▲4.5百万^m、▲1.9%）



家庭用 新築物件の獲得や夏場の低気温による給湯需要の増加等により、1.1%増加

業務用 夏場の低気温影響により商業用物件を中心に空調需要の減少等により、3.5%減少

卸売を含めた全体では、1.9%減少

売上高

原料費調整制度による販売単価の低下や販売量の減少等により3.1%減少

セグメント利益

減収影響に加え、スマートメーターの本格導入、デジタル基盤の強化による経費増加等により45.1%減少

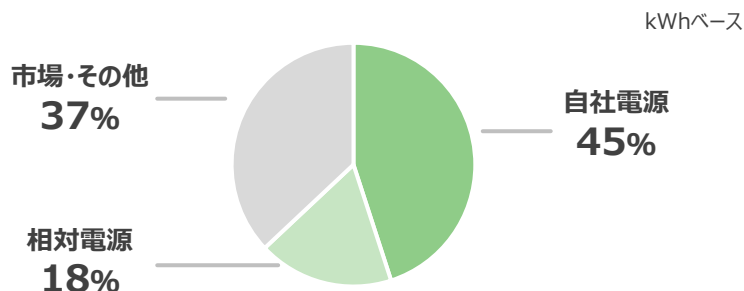
セグメント別の概況 | 電力

お客さま件数

259,349件 (前年度末比 +2,078件)

- 各社が様々なキャンペーンを行うなど、競争が激化する中、ガス器具販売等の接点機会での提案を強化し、家庭用が増加

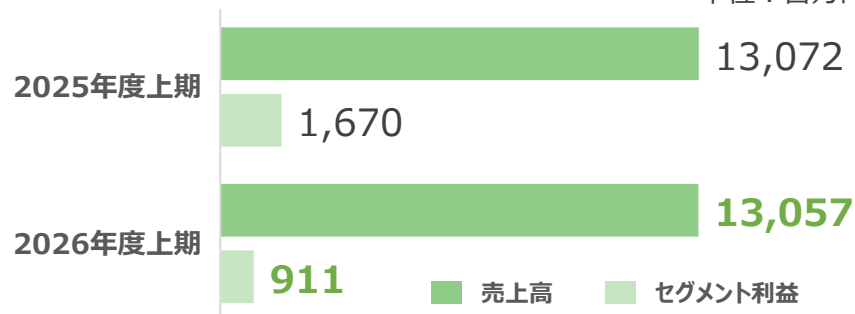
電源構成 (2026年度上期)



- 北ガス石狩発電所や札幌発電所による自社電源に加え、相対電源・卸電力取引市場からの調達を組み合わせ、最適なポートフォリオを形成し、安定的な電力供給を継続

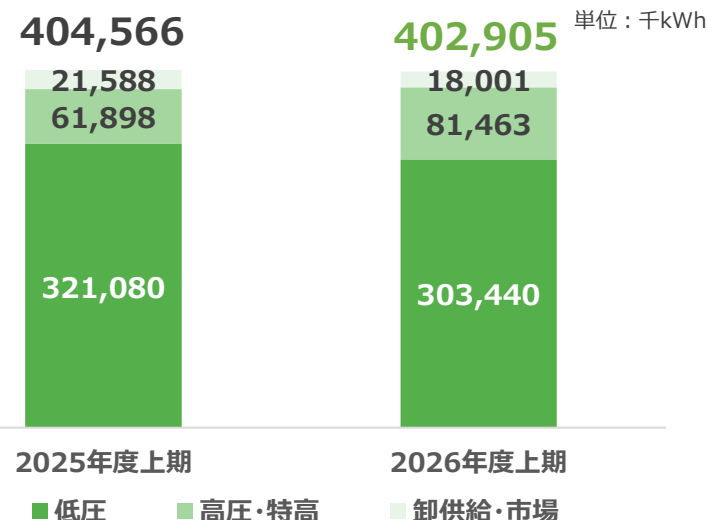
売上高・セグメント利益

単位：百万円



電力販売量

4億2百万kWh (前年同期比 ▲2百万kWh、▲0.4%)



高圧・特高分野では電力需要が伸長、
低圧は減少

売上高

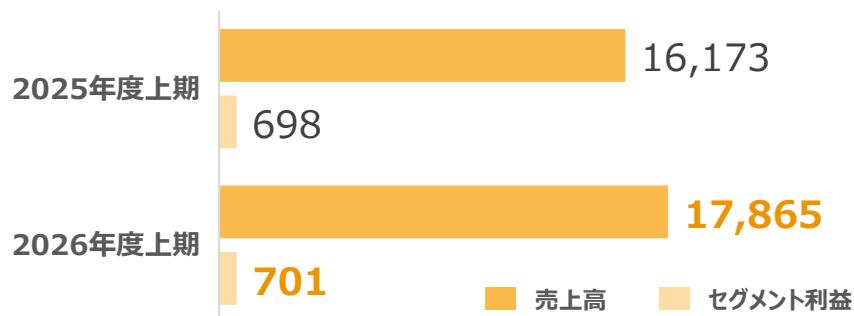
低圧販売量の減少および燃料費調整制度における販売単価の低下等により、0.1%減少

セグメント利益

卸電力取引市場の価格上昇に伴う調達価格の増加等により、45.4%減少

セグメント別の概況 | エネルギー関連・その他

エネルギー関連 | 売上高・セグメント利益 単位：百万円



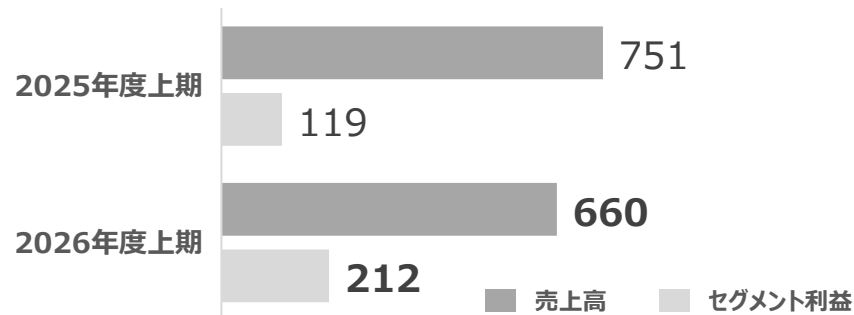
売上高

北ガスフレアストの器具販売の拡大等により10.5%増加

セグメント利益

気温差影響により冷温熱販売が減少したものの、北ガスフレアストの器具販売の拡大等により0.3%増加

その他 | 売上高・セグメント利益 単位：百万円



売上高

北ガスサービスのシステム開発案件の減少等により、12.2%減少

セグメント利益

北ガスライフフロントの物件数の増加等により、77.9%増加

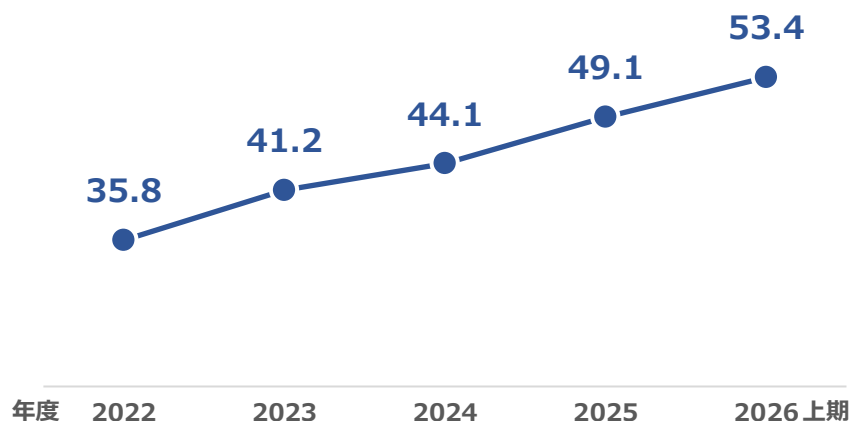
財政状況

- ✓ 季節要因による買掛金の減少や、有利子負債の返済等により、自己資本比率は約53.4%に上昇

	当期	前期末	増減
総資産	1,842億円	1,981億円	▲139億円
負債	833億円	984億円	▲151億円
純資産	1,008億円	997億円	+11億円
有利子負債	542億円	606億円	▲63億円
自己資本比率	53.4%	49.1%	+4.3%

自己資本比率

(単位：%)



2026年度上期のトピックス

ガス

北海道初国際クルーズ客船へのLNGバンカリングを実施



「LUMINARA (ルミナラ) 号」
ザ・リッツ・カールトン ヨットコレクション運航

船舶分野への燃料供給として、
LNGローリー車からフェリーへの
LNG供給を昨年5月に開始
本年5月には北海道で初めて
国際クルーズ客船にLNGを供給
天然ガスの普及拡大と海運業界
の低・脱炭素化に貢献

カーボンニュートラル

北海道初となる道有林J-クレジットを活用した「カーボン・オフセット都市ガス」を供給開始



ほくほくフィナンシャルグループが運営
する北海道内の47拠点に対して、
道有林J-クレジットを活用した
「カーボン・オフセット都市ガス」を供給
燃焼時に発生するCO₂排出量を、
北海道の豊かな森林が吸収・創出し
た道有林J-クレジットでオフセット(相
殺)し、年間約310トンのCO₂排出
量を削減

エネルギーマネジメント

EMINELの機能拡充が環境省「デコ活推進事業」に採択

寒冷地のエネルギー特性に合わせたガス・電気の自動
制御等、EMINELとEMINEL-smartの機能拡充に
向けた実証試験が、環境省の補助金推進事業に採択



環境省公募事業	令和7年度（補正予算）及び令和8年度環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業
採択テーマ	寒冷地住宅における快適性と脱炭素を両立する機器制御による行動変容促進事業（mui Lab株式会社との共同提案）
事業期間	2026年9月～2027年2月

地域との連携

北広島市の地域資源を活用した環境価値の循環を推進

北広島市と北海道ガス株式会社との
包括連携に関する協定締結式



アクア・バイオマスセンター北広島



北広島市との連携協定を締結し、
市内の公共施設や地域事業者に
おける脱炭素化・省エネを強力に支援
市内の下水処理施設「アクア・バイオ
マスセンター北広島」で発生し自家消費
しているバイオガス由来の環境価値を、
国内で初めてとなるクリーンガス証書化
（予定）

「クリーンガス」として北広島市内のガス
需要家へ供給し、環境価値の地産地
消を推進

2026年度上期のトピックス

グローバルアクセラレーションプログラム 「Hokkaido F Village X」へ参画

国内外の先進スタートアップとの連携を通じて、事業共創を加速

スクラムベンチャーズ（米国）傘下の企業が運営するスタートアップ支援事業「Hokkaido F Village X」にパートナー企業として参画するとともに、ベンチャーキャピタルファンド「Scrum Hokkaido Fund I, LP」へ出資

◆ 「Hokkaido F Village X」とは

北海道の魅力向上や地域課題の解決をテーマに、北海道および北海道ボールパークFビレッジを拠点として、グローバルスタートアップとパートナー企業や自治体等との事業共創を目指すグローバルアクセラレーションプログラム※

※国内外のスタートアップに実証環境や資金の提供等を通じて短期間での事業成長と社会実装を加速させる支援事業

◆ 参画の狙い

世界最先端のトレンドを取り入れ、当社の持つお客さま基盤や設備・施設と、国内外スタートアップが有する技術を掛け合わせた事業共創を加速

取り組みを通じて、お客さまの安全で快適な暮らしを支える新サービスの創出をはじめ、地域の脱炭素化に資する先進技術の導入、デジタル技術を用いた現場業務の高度化などをを目指す



自己株式の取得

当社で初めて自己株式を取得し、さまざまな用途に活用

◆ 自己株式取得の目的

当社取締役等への譲渡制限付株式報酬および従業員持株会を通じた譲渡制限付株式割当ならびに戦略的な事業展開の遂行を可能とするため

取得内容

1.取得した株式の種類	当社普通株式
2.取得した株式の総数	1,155,400株
3.株式の取得価格の総額	999,945,700円
4.取得期間	2026年8月1日～2026年9月11日
5.取得方法	東京証券取引所における市場買付

（ご参考）2026年7月30日開催の取締役会での決議内容

1.取得する株式の種類	当社普通株式
2.取得し得る株式の総数	1,300,000株（上限とする）
3.株式の取得価格の総額	1,000,000,000円（上限とする）
4.取得期間	2026年8月1日～2026年12月31日
5.取得方法	東京証券取引所における市場買付

2. 2026年度の見通し

2026年度 業績見通し | お客さま件数・販売量

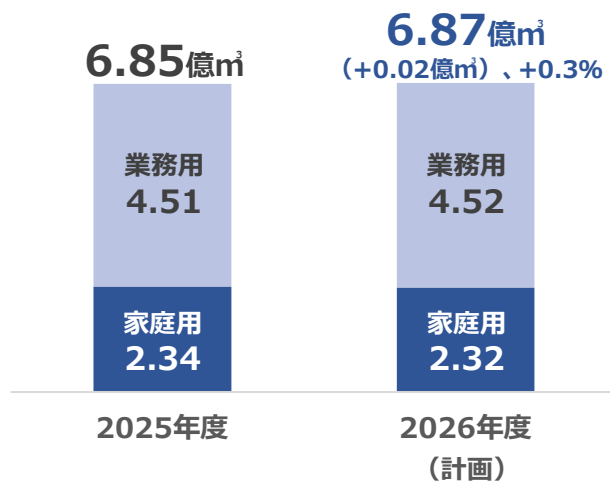
✓ 業績予想は変更なし

ガス 計画値

取付メーター件数 **60.5万件**

販売量 **6億9千万^m**

- ✓ 家庭用のお客さま件数の拡大や業務用の大型物件の稼働等により、販売量は6.9億^mを計画

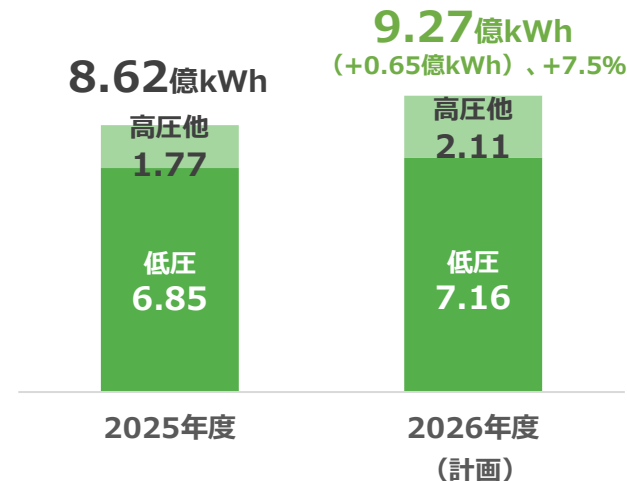


電力 計画値

お客さま件数 **27万件**

販売量 **9億3千万kWh**

- ✓ ガスと電気のセット契約の獲得等により、お客さま件数を27万件まで拡大
- ✓ 販売量は9億3千万kWhを計画



2026年度 業績見通し | 売上高・利益・投資

✓ 業績予想は変更なし

北ガスグループ°（連結）

売上高

1,902億円（前年比 +9.0%）

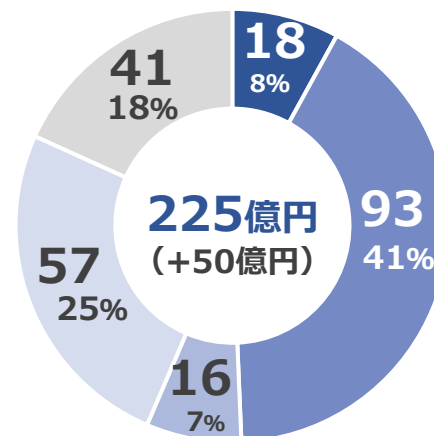
経常利益

130億円（前年比 ▲21.2%）

親会社株主に帰属する当期純利益

93億円（前年比 ▲18.5%）

設備投資（連結）



- 製造（LNG基地等）
- 供給（ガス導管等）
- 業務（ファシリティ等）
- 附帯（再エネ・熱供給等）
- 無形固定資産（DX等）

売上高

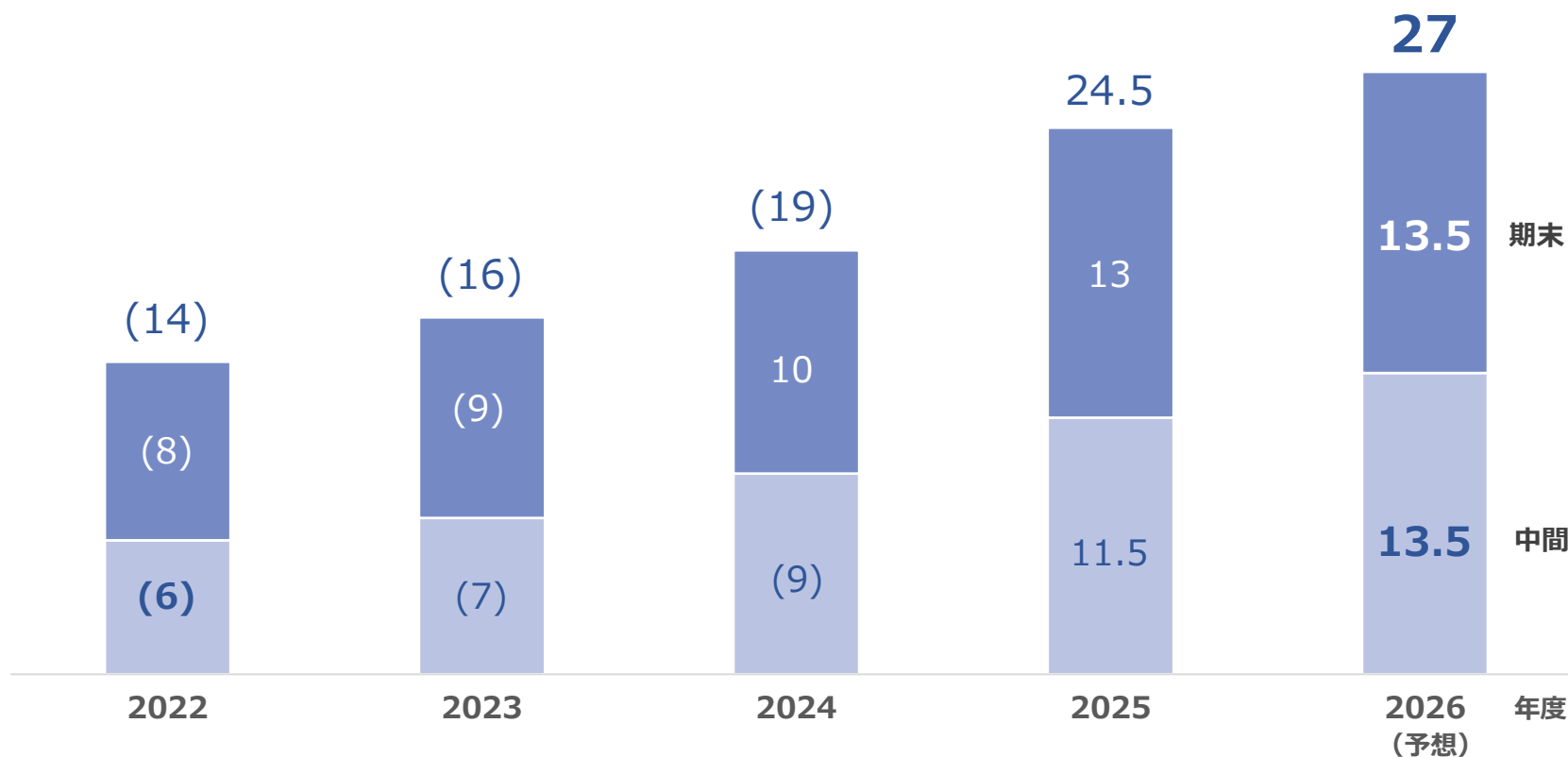
ガス・電力・LNG販売量の拡大に加え、原油価格の高騰に伴い、原料費調整制度により販売単価が上昇する影響等を見込み、9.0%増の1,902億円を計画

経常利益

持続的な成長に向けた戦略投資（スマートメーター、DX関連等）の増加や、中東情勢の緊迫化に伴う卸電力取引市場の価格高騰による電力調達価格の上昇等を見込み、21.2%減の130億円を計画

2026年度の配当およびこれまでの推移

- ✓ 中間配当は、前年同期より1株あたり2円増配
- ✓ 年間配当は、前年同期より1株あたり2円50銭増配（予想）
- ☑ 業績が堅調に推移していることを踏まえ、中間配当は1株あたり2円増配の1株あたり13円50銭
- ☑ 期末配当は1株あたり50銭増配の1株あたり13円50銭（予想）、年間では1株あたり2円50銭増配の1株あたり27円（予想）





本資料における将来の業績見通しや計画等は、現時点における情報に基づき、判断したものであります。したがって、将来の業績等につきましては、今後、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご承知おきください。